

プロスポーツチームの本拠地整備の動きが進んでいる。新本拠地の誕生を機に県内プロスポーツが盛り上がり、地域経済の活性化や地元住民のシビックプライドの形成につながることを期待したい。

県内プロスポーツチームの本拠地整備の動きが進んでいる。最近では、プロ野球「千葉ロッテマリーンズ」の2軍本拠地の移転計画（3月25日）、同球団の本拠地「ZOZOマリンスタジアム」の移転・新設構想（5月22日）、プロバスケットボール「アルティエリ千葉」の新アリーナ構想（7月1日）が発表されている。

各チームの動きをみると、千葉ロッテマリーンズは、30年のシーズン開幕までに、2軍本拠地を埼玉県さいたま市から君津市へ移転し、野球場や練習場を整備する。また、千葉市はZOZOマリンスタジアムを幕張メッセ駐車場に移転し、客席数約3.3万席の屋外型スタジアムを34年までに新設する。アルティエリ千葉は、県立幕張海浜公園内に2万席の観客席を備えた国内最大級のバスケットアリーナを新設し、30年の開業を目指している（図表1）。

昨年4月に新ホームアリーナ「ららアリーナ東京ベイ」を開業したプロバスケットボールチーム「千葉ジェッツふなばし」（船橋市）では、24-25シーズンの年間観客動員数が、Bリーグの歴代最高記録となる29万5,416名（前シーズン比約2.1倍）を達成した（図表2）。プロスポーツチームの新本拠地誕生に伴う集客効果は非常に大きく、足もとで進行する本拠地整備の実現によって、県内プロスポーツがさらに盛り上がっていくことが期待される。

プロスポーツの盛り上がりは、試合観戦者による消費や雇用創出などの経済的効果だけでなく、地域ブランドの向上や住民の愛着心形成といった社会的効果をもたらすという点でも、地域への貢献度が高い。

千葉経済センターが24年8月に実施したプロスポーツがもたらす経済・社会的効果に関する住民アンケートによると、経済的効果の面では、プロスポーツの本拠地がある自治体に居住している人でも、直近1年間で現地観戦の経験がある人（27,300円）とそうでない人（2,008円）との間で年間消費額に大きな乖離がみられた（図表3）。社会的効果の面では、県内プロスポーツチームのファンである人の65.6%が地域への愛着を感じており、ファンでない人（33.2%）を大幅に上回っている（図表4）。

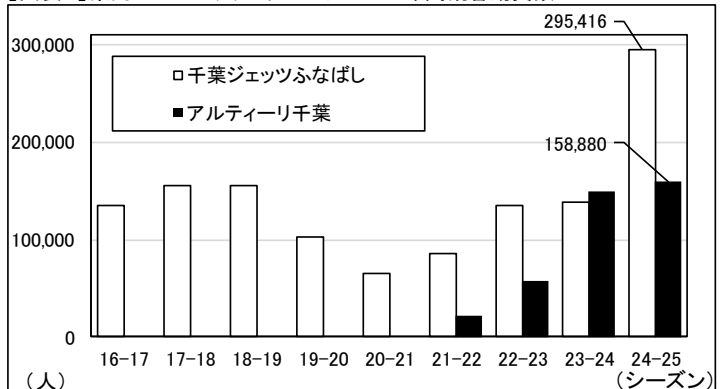
新本拠地の誕生を機に県内プロスポーツチームが盛り上がり、地域経済の活性化はもちろん、地域住民のシビックプライドの形成につながることを期待したい。（竹津）

【図表1】県内プロスポーツチームの本拠地整備計画

|      |                                                                  |      |                    |
|------|------------------------------------------------------------------|------|--------------------|
| チーム名 | 千葉ロッテマリーンズ                                                       | 計画   | 2軍本拠地の移転           |
| 観客席数 | 2千～3千席                                                           | 開業予定 | 2030年              |
| アクセス | JR内房線「君津駅」から約1km                                                 |      |                    |
| 特徴   | 埼玉県さいたま市から君津市への移転。室内練習場、クラブハウス、寮などを設置                            |      |                    |
| チーム名 | 千葉ロッテマリーンズ                                                       | 計画   | ZOZOマリンスタジアムの移転・新設 |
| 観客席数 | 3.3万席                                                            | 開業予定 | 2034年              |
| アクセス | JR京葉線「幕張豊砂駅」から約500m                                              |      |                    |
| 特徴   | 幕張メッセ駐車場に移転。大型モニターや音響施設を設置し大型イベントにも対応。防災機能を完備し、ホテルやサウナなどの機能も導入検討 |      |                    |
| チーム名 | アルティエリ千葉                                                         | 計画   | ホームアリーナの新設         |
| 観客席数 | 2万席                                                              | 開業予定 | 2030年              |
| アクセス | JR京葉線「海浜幕張駅」から約500m                                              |      |                    |
| 特徴   | VIPルームや大型モニター、サブアリーナ（バスケットコート1面）を設置。バスケットボール興行のほか、音楽ライブなども実施可能   |      |                    |

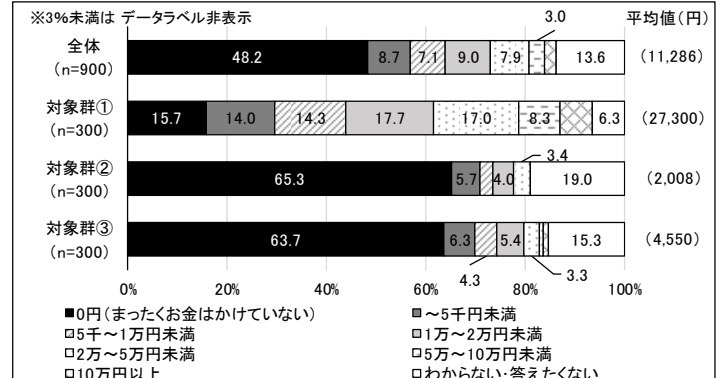
（各種資料よりちばぎん総合研究所が作成）

【図表2】県内プロバスケットボールチームの年間観客動員数



（各種資料よりちばぎん総合研究所が作成）

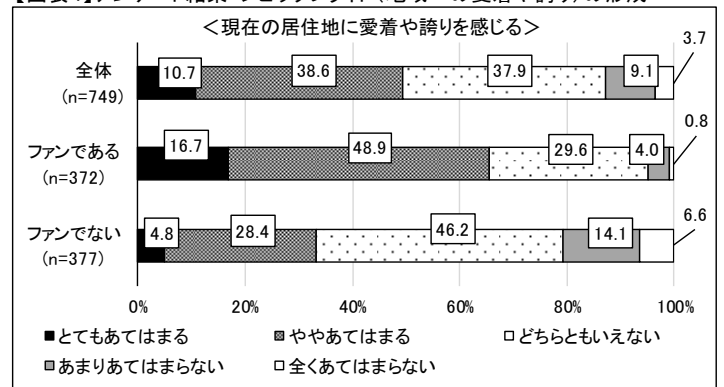
【図表3】アンケート結果・「観る」スポーツの年間消費額



（出所）千葉経済センター「プロスポーツの経済・社会効果とまちづくり」

（注）対象群①：プロスポーツ本拠地がある自治体に居住／直近1年間で現地でのプロスポーツ観戦経験あり  
対象群②：プロスポーツ本拠地がある自治体に居住／直近1年間で現地でのプロスポーツ観戦経験なし  
対象群③：プロスポーツ本拠地がある自治体に居住していない

【図表4】アンケート結果・シビックプライド（地域への愛着や誇り）の形成



（出所）千葉経済センター「プロスポーツの経済・社会効果とまちづくり」